

第5号様式(第7条関係)

会議録

会 議 の 名 称	平成30年度 第2回清須市防災会議
開 催 日 時	平成31年3月27日(水曜日) 午後2時から午後3時10分まで
開 催 場 所	清須市役所 南館3階 大会議室
議 題	1 開会 2 防災会議会長(市長)あいさつ 3 議事 (1) 清須市地域防災計画の修正について (2) 平成30年度の防災事業実績について (3) 平成31年度の防災関連事業計画について (4) その他 4 閉会
会 議 資 料	資料1-1 清須市地域防災計画の修正について 資料1-2 清須市地域防災計画新旧対照表 資料2 平成30年度の防災事業実績について 資料3-1・2 平成31年度の防災関連事業計画について
公 開 ・ 非 公 開 の 別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	2人
出 席 委 員	永田会長、葛谷委員、齊藤(孝)委員、中神委員(代理)、宇佐見委員(代理)、子安委員、石田委員、齋藤(雅)委員、細谷委員、加藤委員、小泉委員、伊神委員、猪子委員、大嶋委員、嶋川委員、加知委員、恒川委員、土方委員
欠 席 委 員	山田委員、村瀬委員、時田委員、瀧本委員、山岡専門委員
出 席 者 (市)	なし
事 務 局	〔総務部 防災行政課〕 平子部長、後藤課長、辻課長補佐、鈴木係長、江川主任、横井主事、長谷川防災官 〔健康福祉部 社会福祉課〕 鹿島課長 〔建設部 土木課〕 加藤部長、飯田課長
会議の経過(要旨)	<p>●事務局</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから「平成30年度 第2回清須市防災会議」を開会いたします。私は、本日司会を務めさせていただきます、防災行政課長の後藤でございます</p>

す。よろしくお願いいたします。

それでは、開会に先立ちまして、委員の出席状況についてご報告させていただきます。本日、山田委員、村瀬委員、時田委員、瀧本委員、山岡専門委員から欠席のご報告を受けておりますが、委員の過半数以上の方が出席されております。従いまして、清須市防災会議条例第5条第2項の規定によりまして、本会議が成立していることをご報告いたします。

なお、この会議は、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱第3条の規定により、公開会議となっておりますので、よろしくお願いいたします。傍聴人各位におかれましては、同要綱第6条第4項の規定により、お手元に配布しました遵守事項に従っていただきますようお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、清須市防災会議会長であります永田市長からご挨拶申し上げます。

●永田会長
(市長あいさつ)

●事務局

ありがとうございました。それでは、これより議事に入りますが、本日ご持参いただきました資料のご確認をお願いいたします。

(配布資料確認)

それではこれから議事の方に入ります。会議進行につきまして、会長であります市長にお願いをいたします。よろしくお願いいたします。

●永田会長

それでは、会議の進行を務めさせていただきます。ただいまから議事に入ります。

はじめに、議事1「清須市地域防災計画の修正について」、事務局から説明をお願いします。

●事務局

(資料1を説明)

●永田会長

ただいま議事1の説明が終わりました。この件について何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。どのようなことでもご意見いただければと思います。

●大嶋委員

避難所の関連で尋ねたいことがあります。

昨年9月30日に、台風24号で避難所を開設されたと思いますが、そのときは夕方4時頃に防災無線が流れましたので、町内の方々はスムーズに避難することができたと思います。

私も17時頃から23時頃まで避難所におりました。私のブロックは14名避難しておりまして、職員の方も一緒にいていただいて対応しました。あのようスムーズにいく避難所はいいと思いましたが、今年の3月9日に岐阜で震度3ぐらいの地震が深夜1時頃にありました。仮に夜中に大きな地震が発生した際には、夜中ですので避難する方もいると思います。

私の場合、西枇杷島小学校の体育館に避難するのですが、夜中の1時とか2時に避難所に避難することになれば、避難所の鍵の問題があると思います。たとえ扉を乗り越えたとしても、体育館に入るにはどうすればいいのか。発電機も回っていて、電気も通っていた

としてもおそらく皆さんは入れません。門のあたりでパニックが起きないかと思うのですが、そのあたりの想定はどうなっていますか。

●事務局

はい、回答させていただきます。この意見は、基本的に地震の想定ということで回答させていただきます。地震につきましては、避難所は即開設いたしません。あくまでも、職員が目視にて確認をしたうえで、避難所として使えるという判断をしない限りは、現状では避難所を開設しない予定であります。

水害と地震の大きな違いとしましては、水害の場合、台風もそうですが、予測ができます。そのため、今言われた9月30日のときのように、明るいうちに避難所に避難してくださいというような伝達ができます。しかし、地震というものは今でも起こる可能性があります。清須市のスタンスといたしましては、地震については慌てずに行動していただきたいと思っております。

避難所は使えるか使えないか分かりませんので、使えるということが分かれば、無線やメール等で避難所を開設するといった伝達をするという取り決めを前々からしております。地震の場合はなるべく慌てず行動していただきたいということを、自主防災会の方々に今までも周知してきましたが、今後も周知をしたうえで行動をしていただきたいという風に考えております。

鍵の問題ですが、これもまた今の話と一緒に、避難所として使えるか分からない以上、鍵をどこかに置いておくということも一度検討しました。他にも、市政推進委員さんや自主防災本部長さんなどに鍵をお渡ししておくということも一つの手段だと思っておりますが、どうしても鍵をもらった方は重荷になってしまいます。そのため、今のところは慎重に対応させていただいております。

やはり、地震のときは、とにかく慌てずに行動していただきたい、避難所はすぐに開きませんよということを自主防災会を通じて皆様にご周知をしていただきたい、という風に考えております。

●大嶋委員

分かりました。ありがとうございます。町内の方々に地震が発生した際の説明をしておきます。

●永田会長

他に何か意見はございませんでしょうか。

●伊神委員

自主防災会や消防団などの各団体と連携強化をしていくとのことですが、これは具体的に今までも毎年防災訓練などをやってきましたが、市の方に講話に来ていただいたり、消防署の職員の方に来ていただいたり、いろいろ窓口になってお世話になっています。

しかし、防災訓練には一度も市の職員の方々がおみえにならない。外町だけではなく、新川地区だけでも結構ありますので、大変なのは分かりますが、連携強化をしていくということは、行事を開催しながら同じ目線でこういうことが良かった、悪かったという反省会まで出ていただくということが、一番不可欠なことではないのだろうかと思っております。

その点で、市としてはどのように強化をしていくのかお聞きしたいと思います。

●事務局

今回の防災計画の修正の中に、自主防災会等との連携強化ということをやっております。基本的には、ボランティア団体等と共有の場を設けるといった考え方もありまして、今おっしゃられたように、市の職員が全部の自主防災訓練に参加するという事はなかなか

か難しいです。ただ反省会等に参加してくださいと言われましたら、時間があるのでしたらやぶさかではないと思います。

ただ、原則といたしましては、自主防災会と消防団につきましては、地元選出の消防団員もおりますので、そこで連携を取ってもらいたいと思います。その中で、清須市にこのようなことを協力してもらいたいという発言や、反省会に来てくださいといった意見がある場合には、実績報告書を市に出していただいていると思いますが、それに意見書として申し上げていただいて、こういう話がありますので一度消防団とか市の職員が参加をしたうえで協議をする場を作ったらいいいのではないかと、ということをご提案いただけたらよろしいかと思ひます。

今までは、市の職員が要望を受けて講演に参加したり、自主防災訓練に参加をしているところもありますが、やはり一日に1人か2人しか出られませんし、それもままならないこともありますので、一度地元の自主防災訓練をやるうえで、消防団と協議をしてもらって、その実績報告書を出してもらう段階で、このような点があつて市にこのようなことを要望したいといったお話については、ご提案をいただければ良いと思ひますのでよろしくお願ひします。

●永田会長

よろしいでしょうか。

では他にご意見、ご質問はないようですので、議事1「清須市地域防災計画の修正について」は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(異議なし)

ありがとうございます。ご異議ございませんので、原案のとおり承認することに決定しました。次に、議事2「平成30年度の防災事業実績について」、事務局から報告をお願いします。

●事務局

(資料2を説明)

●永田会長

ただいま議事2の報告が終わりました。それでは、この実績報告について何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

●猪子委員

ブロック塀のことでお聞きしたいのですが、今年度何箇所か直しましたよ、ということが書いてありましたが、市の中でどれだけ危険なブロック塀があるのか、把握されているのかどうか分かりませんが、危険なブロック塀は相当数あるのだらうと思ひます。

そういうところに対して、市の職員が「あなたの家は危ないよ」という話をしていて思ひますが、ブロック塀は個人の所有物ですから、それ以上のことを言えないと思ひます。危ないよとは言えるけど、直さないよとはなかなか言えないと思ひます。そうなつてしまうと、現に崩れそうなのブロック塀があつて、住民さんがそれを知らずに通つて崩れて怪我をするといったことが起きたら、何をやっているのかという話になりかねないです。

非常に難しい話だと思ひますし、私も答えを持っていないのですが、個人所有のものに対して、何らかの是正勧告や指導といったことができるような仕組みを検討してもらふことはできないでしょうか。

全体でどれほどの件数があるのかとか、来年度計画にも10件ほどありますが、市の予算のこともあるだらうし、いろいろなことを考えたらどうなのだらうかということも含めて、ご意見を伺いたいと思ひます。

●永田会長

ブロック塀については、去年の大阪北部地震のときに課題になりまして、公共施設についてはすぐに調べて、2箇所ありました。それはすぐに取り壊すという作業をしました。

民間のブロック塀については、県とともに、全てではないですが、主に通学路を中心に調査を行いまして、現に悪いところはあります。それは今のところ、そこの所有者の方にあなたのところは危ないので、壊すか直すかしてくださいといったことは言えませんので、今は何らかの形でお知らせをするという考えはあります。

実はこれはブロック塀だけではなくて、空家も大きな課題となっております。本当に危ない空家については、何とかしなければならないということで、法律もできましたし、特定空家ということで認定をして、将来的に、どうしても壊されなかったときは強制的にという考えも持っています。

しかし、ブロック塀についてはそこまで行っていないということで、実際には特に危ない通学路については、教育委員会も調べておりますし、私が現在教育委員会に聞いているのは、そこは危ないから避けるように、という対応を取っているという話は聞いております。31年度の予算にも組みましたし、できるだけPRをしていって、危ないブロック塀を抱えている所有者の方には認識を持っていただいて、できるだけ直す、または壊すといった話に持っていくしかないと思っております。なかなか個人の資産に手をかけるということは難しいところがありますので、粘り強くやっていきたいと思っております。

他にございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは議事2「平成30年度の防災事業実績について」は報告を終了させていただきます。

それでは次に、議事3「平成31年度の防災関連事業計画について」、事務局から説明をお願いします。

●事務局

(資料3を説明)

●永田会長

ただいま議事3の説明が終わりました。それでは、この事業計画について何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

●小泉委員

今ご説明いただいた防災訓練について、今年度は中止になりました。我々はとても残念だったのですが、防災訓練の中で、自分の組織の体制や様々な他団体との連携確認、そういうこともやっぱり台風で中止ですから現場ではできないのですが、何らかの場所を設けて、主に連携の確認をやってみる機会があったら良かったと思っております。

中止ということになると、一切事業がなくなってしまうものですから、そのあたりの確認を試みようとすると全然できないということですので、やはり連携強化という点では、何らかのシミュレーション的なものをおこなうべきではないかと思っております。これは私からの提案ですが、以上です。

●事務局

今のご提案、大変ありがとうございました。昨年9月ですが、総合防災訓練のために当日まで準備をしていたのですが、朝方落雷ということで、雨であれば実施する予定だったのですが、落雷ということでありましたので中止という判断をさせていただきました。

小泉さんがおっしゃられるように、こういうことをやったらいいよねという話はあると思います。ただ、あの場面では申し訳ないですが、中止という判断でしか対応ができません

んでした。

なおかつ、たまたまあの日は落雷だったのですが、それが本当の災害につながる場合がございます。そのため、前もって中止だった場合にこういう訓練をやったらどうか、ということはなかなか難しいかなと考えております。

ただ、今のご提案は非常にありがたいご提案だと思っております。どういった団体さんと連携が取れるのかということはですね、いろいろな団体さんとの交流は必要だろうということは再認識してきたところです。

今後、先ほどの話ではないのですが、ご提案をいただきながら我々も一緒に考えていき、どういう訓練ができるのか一緒に考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

●永田会長

他にございませんでしょうか。

これは防災の話とは直接関係はないのですが、避難所の関係で、小中学校の普通教室にエアコンを設置する工事を行っています。今年の6月末までには、全ての小中学校の普通教室にエアコンが設置されます。体育館にはエアコンが設置されていませんので、大きな災害が来たときに、特に真夏とか冬とかちょっと体育館では厳しいというときには、もちろん学校の授業が優先にはなりますが、学校の授業ができないような災害の際には、教室を避難所として使って体調管理ができるのではないかと考えております。

また、備蓄品のところで、液体ミルクというものの販売が可能になりました。ただ、賞味期限、保存期限が非常に短いということで、どこの市町村もまだ迷っていると思います。これもまた国からガイドラインが出てくるのではないかと思いますので、液体ミルクの備蓄についても、検討していかなければならないと思います。

では議事3については、他によろしいでしょうか。

ご意見等ございませんので、議事3「平成31年度の防災関連事業計画について」は説明を終わらせていただきます。

次に議事4「その他」についてですが、せっかくの機会でございますので、ご質問等がございましたら、よろしくお願いします。

今日は名大の山岡先生がご欠席ですので、防災関係のお話をお伺いすることができません。今日の議題以外でも結構ですので、何かご意見、ご質問がございましたら、何でも承りたいと思います。

●嶋川委員

去年の大雨のときに、要援護者の方に、避難情報が出た時点で避難しますかと聞いて、避難しないということでしたので、その方を避難所まで送ることはしませんでした。

その関係で質問ですが、清須市には21の避難所があって、春日は2つなのですが、避難準備情報が出た時点で避難所を開設されたときに、具体的にどの方が面倒を見てくれるのでしょうか。そういう方はみえるのですか。

●永田会長

どの方かと言われますと、職員で避難所に関わる職員ですか。

●嶋川委員

例えば、避難準備情報が出て危ないと思って避難所に行ったときに、誰かの指示があるのですか。ボランティアさんがいるのですか。

●永田会長

職員が2名おります。

●嶋川委員

例えば、浦野さんの講座を聞いておられますと、体育館は土足厳禁にしたほうがいいとか、あるいは通路は最初に決めた方がいいといった情報をいっぱい学んできました。しかし、実際に避難準備情報が出た時点で、誰かがそれをやらない限り混乱すると思います。体育館の入口にビニール袋を準備して、靴はここに入れてください、というようなことをできる方を作っていないと、私は大きな避難をした経験はありませんが、せっかく学んだことを活かさないと思います。

市とボランティアとの間にギャップがあるというか、つながりがないものですから、具体的に話が進みません。

そこで私からの提案ですが、清須市の21ある避難所の避難所準備委員会を作り、地区の代表の方に集まっていたいで、事前に靴のビニール袋はここに置こう、通路のテープはここに準備しよう、あるいはその予算は市が面倒をみようとか、そういう具体的にいつ起こるか分からない災害に向けて進んでいかなければ、市は避難所を開設しました、職員を出しましたというだけではスムーズに行かないと思います。そのところを検討していただきたいと思います。

●事務局

今のお話というのは夏の防災会議のお話の続きだと理解しております。ボランティアと市との間に溝があるということはないと思います。ただ、今の意思疎通が取れていないとか連携が取れていないということ、そういう風におっしゃられたように私は理解しているのですが、嶋川さんがおっしゃられるように、ボランティアさんの中でそのような気運が盛り上がってきて、避難所準備委員会のようなものを立ち上げていただけるということであれば、我々は当然協力を惜しみません。

ただ、やはり現状で避難所を運営できるだけの職員がおりませんので、どうしてもボランティアに頼ることになるかと思えます。そのような気運が高まってきた中で、どういう行動ができるのかということ、話し合いはどことどうい話をするのかということも決めていかなければならないです。

先ほど言われた、避難所の中に通路を決めるという話ですが、実は防災行政課で、全ての避難所の図面を取り寄せて、検討を進めております。それができあがったときに、どのような団体に対してご説明を差し上げたらいのか、今の話ではないですけど、ご協力いただける人、団体を探すという言い方は変かもしれませんが、そういうことをやりたいがために、地域防災リーダー養成講座をやっているということも一つあるということをご理解いただいていると思います。その養成講座の仲間たちで、例えば一つボランティアグループを立ち上げたときに、一度我々の方にご相談をさせていただいた上で、どのようなことができるのかということは相談をしたいと思いますが、いかがでしょうか。

●嶋川委員

受身になったらできないと思うのですよ。ボランティアの方から言って来たらやるのではなく、市がこういうことでこういう方法でやれないか、ボランティアが動ける、動きやすい条件を作ってあげよう、という格好を取らないと。

例えば春日でも、うちのブロックだけではなく、他のブロックもあります。うちが勝手にやるわけにもいかないし、その代表を集めてこういう委員会を作ってくれと、応援するから作ってくれ、予算を出すから作ってくれと、そういう風に前向きに動いてくれないといけないと思います。

大体自主防災会なんて勝手にできないですよ。防災訓練は何度だってやります。市がヒントを与えて、具体的にうまく運営できるように持っていくと。今までずっと受身じゃないですか。

●事務局

今の避難所運営の話につきましては、マニュアルをお配りしたうえで、既に実施されているブロックもあります。そういうところでは、話を受けた中で、HUG訓練ですとか、図面をください、こういうものが作りたい、という話はやはり自主防災会の方からいただいています。

受身と言われれば受身かもしれないですが、市からそういうことを下ろす先がないものですから、それを例えば防災リーダー養成講座の中で、こういうボランティアサークル的なものが立ち上がった、自主防災会が立ち上がったというお話をいただいたうえで、話を下ろしていく必要があると思います。

むやみやたらにこれをやってください、あれをやってくださいということでは、やはり受ける方も大変だと思います。嶋川さんのような熱い方ばかりではないものですから。大嶋委員もそういった話は良くご理解いただいているかと思います。話を下ろそうとすると、どうしても抵抗が出てくるところがございます。既にそういうことをやっている自主防災会もありますので、そのあたりも連携していきながら考えさせていただきたいということも実際にあるのです。

去年も避難所の運営方法の中で、いろいろ手厳しいお言葉をいただきました。看板がないからどこから入るのかとか、そのような問題を一つひとつ解決していかないと、我々としても限られた人数でどのようにやっていくのかということを考えたいと、今避難所の図面を持って、通路をこんな風に設けたらいいのではないかと計画を作っています。

そのような話を下ろす先が、こういうところにあるんだということがあれば、ご要望していただくなり、お話をください。受身ではありません。お話をいただければ、当然話には参加させていただきますので、むやみやたらに我々も下ろせません。一度そういう話をする場を設けるのであれば、我々も参画したうえで、話し合いをしていきたいと考えていますので、お願いします。

●永田会長

今の話はですね、いろいろな町内会、ブロックの話がありまして、はっきりとは課長も言いませんでしたが、なんで私たちがそこまでやらなければならないのか、と言う方もいる訳です。避難所の運営は市役所がやるのが当たり前と言う方も現実にはおみえになります。

そういうところにはなかなか言いづらいというのは事実だと思います。しかし一部でこういうことをやりたいとおっしゃっていただければ、担当の職員も打合せをさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

実は、東日本大震災のときに、市の保健師の職員が大槌町の避難所に派遣されたことがあります。そのときに聞いたのですが、町の職員は何人いたのかと尋ねたら、1人もいなかったそうです。それならばどうやって避難所を運営していたのかと尋ねると、学校の先生、生徒、住民の方がやっていたそうです。職員は一週間、誰も来なかったそうです。それだけ被害がひどくて、職員も被災していますので、職員もいなくて、そのような状態であったのだと思います。

今、避難所が21箇所あるというお話がありましたが、台風ときには必ず2名ずつ配置しています。それだけで42名の職員が必要になります。ある程度時間が経てば交代をさせないといけませんので、これによりさらに倍の人数が必要になります。

台風ときには、長くても半日程度で通り過ぎますからいいですが、地震となると、職員は当てにできないということは現実だと思いました。ですから、自主防災会、町内会の方々にご協力をいただかないと避難所を運営できないと思いますので、できる限りそのような風になっていただければ、市としても積極的に動きたいと思いますので、どんどん意見をいただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

●小泉委員

体育館の防災テレビですが、テレビがない体育館はどこでしょうか。

●事務局

基本的に小中学校の体育館には1台もございません。設置をしたいということで、来年度の予算で調査をさせていただきます。どこに設置したらいいのか、アンテナはいるのか、いないのか、場所的にどの程度のテレビが入るのか、という調査を行わせていただきます。12の小中学校全てでやらせていただきます。

●永田会長

これは実はなかなか難しかったのですが、教育長がいらっしゃるので言いにくいのですが、やはり学校の施設ですので、できるだけ壊れないものにするとか、児童生徒がいたずらをするとか、これにはいたずらをしないと思うのですが、きちんと保管ができる設備にしたいということもありまして、なかなか進まなかったのですが、そのようなことも言っていられなくなりまして、何とか教育委員会に協力してもらって、今回は調査をしようということになりました。

来年度に調査をして、再来年度にテレビ設置の予算を付けたいと思っております。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それではご質問もございませんようですし、以上で会議の議事はすべて終了いたしました。長時間にわたり慎重審議を賜り、ありがとうございます。それでは進行を事務局にお返しします。

●事務局

それでは、これをもちまして「平成30年度 第2回清須市防災会議」を閉会させていただきます。長時間にわたり、お疲れさまでございました。

会 議 の 結 果

会議の経過に示したとおり